

平成26年度第2回新名取市図書館施設整備検討委員会議事録

会議名	第2回 新名取市図書館施設整備検討委員会	
日時	平成26年12月19日(金) 10時00分～11時40分	
場所	名取市図書館 南館	
出席者 【16名】	委員8名	早川光彦、天間環、志賀保史、板橋正春、福間澄絵、三塚玲子、 下澤なおみ、長沼明子
	アドバイザー	岡本真
	事務局5名	生涯学習課 川村美保子課長、佐々木賢一課長補佐 図書館 柴崎悦子館長、石川雅一主査、西山司書
	説明員2名	増田復興再開発推進室 車塚仁悦室長、松原妃主事
欠席者	委員2名	佐伯幹子、大野千春
傍聴者	1名	

1 開 会

◎事務局

それでは、皆様、おはようございます。

本日は大変お忙しいところご出席いただきありがとうございます。

定刻になりましたので、まだいらっしゃっていない方もおりますが、平成26年度第2回新名取市図書館施設整備検討委員会を始めてまいります。

開会にあたりまして、早川委員長様よりごあいさつをお願いいたします。

2 あいさつ

◎早川委員長

本日は、お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

前回11月21日に第1回目の検討委員会を開きまして、本日は2回目になります。事前に資料をお送りさせていただいておりますけれども、いよいよ形が少し見えてきて、本日はゾーニングをどのようにするか、委員の皆様にご審議いただきたいと考えております。

図書館が名取駅前に新しくできるんだという期待を市民の皆様に大きく持っていただいて、その期待を裏切らない形で、その場限りの楽しさだけではなく来られた方の好奇心を刺激し行ってみたくなるようなわくわくする図書館が実現できればというふうに考えております。

本日はご忌憚の無い意見をお出しいただきたいと思います。よろしくどうぞお願いいたします。

◎事務局

ありがとうございました。

本会議の委員会の要綱には人数による会議成立の要件はございませんが、本日は1名の方、佐伯委員から欠席の連絡がございます。それから長沼委員と大野委員がまだ見えておりませんが、欠席の連絡は今のところございませんので何らかで遅れているものと思われる。

本日の会議は前回同様、名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により公開の対象となります。本日も傍聴席を設けておりまして、1名の方が傍聴されておりますのでご連絡いたします。

また、非公開となるような議事の予定はしておりませんが、非開示情報が含まれる場合は、会議に諮り決定していただくことになっております。

なお本日の会議録につきましてはですが、名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第9条の規定により、市政情報コーナーで会議を開催した日が属する年度の翌年度の4月1日から起算して3年間、閲覧に供される他、インターネット上、市のホームページに1年間公開されます。公開時の名前は、名字 ○○委員と表記されますのでご承知願います。

3 前回会議の報告

◎事務局

前回会議の会議録につきましては、皆様にお送りさせていただきました。訂正箇所等ございましたらご連絡ください。先ほど板橋委員よりご指摘あった点は訂正させていただきます。無いようでしたら前回会議の報告は会議録に代えさせていただくこととしますので、よろしく願います。

4 議事

(1) 新図書館施設内のゾーニング案について

◎事務局

それでは、議事に入ってまいります。新名取市図書館施設整備検討委員会設置要綱第6条に、委員会の会議は委員長が召集しその議長となる、とありますのでここからの進行は委員長に願います。

◎早川委員長

それでは、事前にお送りさせていただいております次第に従いまして、議事を進めて

まいります。

議事の（１）新図書館施設内のゾーニング案について、事務局から説明をお願いします。

◎柴崎館長

委員の皆様には事前に図面を送らせていただいておりますが、この図面は前回説明しました新図書館の基本的な考え方と、大まかなゾーニング、２階フロアの西側４分の１程度が情報・交流コーナーであるとか、その隣が新聞・雑誌コーナー、その東側が児童コーナー、さらに３階フロアは一般開架というような、本当に大まかな考え方をお話させていただきました。このことを設計担当の方に説明し、委員の皆様がイメージしやすくなるように、たたき台となるような図面を描いてもらいました。

本日はこれを見ながら、気が付いたことであるとか、こうして欲しい、といったことなどどんな細かいことでも構いませんのでご意見を頂戴したいと思っております。例えば、現在子どものフロアは仮におはなしの部屋として図面にあるような形で置いておりますが、別の形の提案や全体の色調のトーンだとか、気が付いたことをどんどんお話いただければと思います。どうぞよろしく申し上げます。

◎早川委員長

はい、ありがとうございます。それでは前回の検討委員会で重視していきたいところと、本日配られました新名取市図書館整備基本計画（改訂版）の４ページですが、確認をしておきたいと思えます。運営については直営です、とあります。これが重要な点ですけれども、ICシステムを導入していくということです。前回の委員会でお話しましたようにICを採用すれば、入口を通ればお互いに今まであった様々な心配はかなり払拭されることが前提にあります。前回、家族層の利用が多くなるよう力を入れていきたいというようなところで合意をいただいた、ということをご意見を頂戴したいと思います。よろしく申し上げます。

◎岡本アドバイザー

平面図を見慣れていない方には訳がわからないところがあるかと思いますが、例えば図面にあるこの５段と書いてあるのはどういう意味か、そういったところから遠慮なくご確認いただくと良いかと思えます。

◎早川委員長

それから、本日は車塚室長がおいでなので、例えばトイレの位置を大幅に変えてください、多目的室の位置を変えてください、ということが可能なかどうかをお伺いして

おきたいと思います。皆さんの意見もその方が出やすくなると思いますので、今の時点で何か制約があればご説明いただけますでしょうか。

◎車塚室長

今回再開発事業は分棟方式で進めており、住居棟、公共棟、駐車場としており図書館・公民館が入るビルにつきましては、排水や給水関係が4階の公民館を含め図面にあるように決まりつつあります。私どもといたしましてはトイレについてはこの位置が費用等の面から妥当であると考えております。

それから駅前入口として階段とエレベーター（図書館内ではない）といった共用部分につきましても、図面のとおりをお願いしたいと考えております。

ただ、トイレにつきましては非常に重要ですので、もし別の位置の方が良いのではないかということになれば、この検討委員会の意見で場所を特定しつつ変えるということになれば、全体設計がかなり遅れておりますがぎりぎり間に合うのではないかという段階です。

◎早川委員長

ただ今説明がありましたように、本日が水回り、吹き抜け、階段の位置を決める期限に近づいているということです。前回の検討委員会で申し上げましたとおり、どちらかという今この段階では制約は全く無く、この図面に囚われる必要は一切無い。ただし難しいのが、一旦線を引き決まると、それが決定であるかのようになってしまうが、車塚室長からぎりぎりまだ間に合うとの説明を受けましたので、図書館サービスの重点といった視点を含めてご意見を頂戴できればと思っております。

◎天間副委員長

残念ながら図面を見ても全然分かりません。想像がつかないです。事務局を困らせて大変申し訳ないのですが、立体模型図はできないでしょうか。それを見て、あれがいいとかそれがいいとか、といった議論ができるのではないのでしょうか。私自身、家を建てるときに設計者に模型を作ってもらい、間取りを自由に移動できる形でやってもらった経緯があります。私はそちらの専門ではありませんから、この図面を見てもイメージが湧きにくいので立体的にできないものかと思うわけです。もし、それができないようであれば、説明等で補っていただければありがたいなと思います。

◎早川委員長

はい、ありがとうございます。天間副委員長の意見にありました模型の作成は可能か、それができないのであればもう少し分かりやすい説明をお願いしたいということですが、

事務局の説明をお願いします。

◎柴崎館長

模型の作成につきましては車塚室長とできるかどうかを確認したいと思います。

それから、丸いものは何かといった疑問はあるかと思しますので、私の方からご説明できるものはしたいと思います。

まず、四角いものは本棚だと思ってください。5段と書いてあるのは5段の本棚、4段と書いてあるのは4段の本棚で5段本棚より背が低いものになります。

それから雑誌・新聞のところに黒い四角い箱も雑誌や新聞を入れる棚になります。多目的室近くにある四角いものはテーブルと椅子になります。

多目的室の右隣にあるL字型のものはカウンターになります。

中央部階段脇に半楕円形のようなものは子ども用のカウンターとなります。

3階に行きますと、また同じような形のものがたくさん並んでいるのですが、本棚、それからバルコニーの近くにある四角いものは閲覧用の机と椅子となっております。

なかなかこの平面図だけではイメージしにくいと思いますがよろしくをお願いします。

◎板橋委員

4階についてはどのようなになっていますか。

◎柴崎館長

4階部分は委員の皆様には今回お送りしておりません。すでにお気付きの方もいらっしゃるかと思いますけれども、この図面の中には閉架書庫が描かれておりません。現在のところ4階に10万冊程度の集密で2階建ての閉架書庫を予定されているのですが、まだ流動的ではっきりと決まったわけではなく、10万冊の収蔵が可能なのかということもあるような状況であることから、4階部分の図面を皆様にお送りしなかったことをご了承いただきたいと思います。

◎志賀委員

内装・壁の色まで審議するのであれば、模型もですがCGといったパーツが無いとイメージができないんですね。例えば2階の事務室に6段の書架がありますが、壁になるのかオープンになるのか。それからお話の部屋のアールの部分は壁なのかそうではないのか、全体が見渡せるのか仕切りになるのか、書架の高さはどの程度なのか、この図面をみただけではイメージができないところがあるので、CGか何かで見せていただけるとイメージが湧いて意見が言いやすくなるのではないかと思います。

◎早川委員長

はい、ありがとうございます。今2人の委員からイメージをつかみやすくするために模型やCG・立体図面が必要ではないかとの意見が出されました。先ほど車塚室長から決

めていただきたいところがあるとのことですが、そのところを今日は決めておいて、模型や立体図面は作成に時間が必要ですので、まずは可能かどうかをお答えいただければと思います。スケジュールの制約等はあるかと思いますが、お二人の委員から出された意見は、中身を決めていくにあたりとても大事なところだと思います。私の経験から言うと、設計する側に対してぜひ作ってくださいとお伝えいただきたいと思います。このような重要な意見が出されましたので、期限を設けて作っていただきたいという趣旨のご意見です。お答えをお願いします。

◎柴崎館長

確かにそのとおりでございます。それでは本日は、車塚室長から話がありましたように水回り、階段の位置、エレベーターの位置は必ず決めなくてはならないことになっております。もさらに細かいところについてはこちらでCGあるいは立体模型等を次回の検討委員会ではご用意させていただきたいと思っております。

◎車塚室長

イメージがつかみにくいというご意見がありましたがおもったことだと思っております。模型についてもゾーニング、書架の高さ、位置について検討するには必要だろうと思っております。例えば事務室、多目的室、階段といったものがある程度固まっていないと、模型・CGはできないと思っておりますので、先ほどから話に出ている部分については決めていただき、模型やCGについていつごろ用意できるかといったことは、設計担当と調整していきたいと考えております。

◎早川委員長

それでは、トイレ、階段、吹き抜け、部屋の部分を検討していきたいと思っております。

まず、トイレですが、通常図書館といった公共施設のセオリーと言われているのが入口の近く、もしくは児童コーナーの近くに設けるということが基本であるとなっております。また、駅の目の前なので、ちょっとトイレを借りて電車を待とうという方もいらっしゃるのではないかとと思いますが、そのように考えると多目的室あたりが妥当ではないかと考えます。あえてこの施設でトイレを奥に配置している理由はどのようなことからでしょうか。この場でトイレの場所が多目的室へと合意が得られれば変更は可能なのでしょうか。

◎車塚室長

この建物のトイレの配置について、1階はロビーから入ってすぐのところ、駅側に配置する予定です。

◎板橋委員

トイレは駅の1階にもありますし2階にもあります。駅を利用しない人は再開発ビル1階のトイレを利用するという考えもあると思っております。

ところで図面で分からないところの質問なのですが、バルコニーを設置しそこで読書ができるのでしょうか。

◎柴崎館長

現段階の設計ではバルコニーを設置する予定です。外の空気が吸える場所で読書もできるようにしたいと考えています。

◎板橋委員

2階ゾーニングのロビーから入って右側の窓際に5つあるのは何のマークですか。席に関するものでしょうか。なぜこのことを確認したいのかと言いますと、前回の検討委員会の説明で200席以上設置したいということでしたが、この図面上では150席程度にしかならないのではないのでしょうか。

他に、多目的室の隣はカウンターでしょうか。

北側の窓際にあるものは何でしょうか。

◎柴崎館長

ロッカーの隣にある曲線を描いている四角いものはソファーになります。

それから多目的室の脇にあるL字型の点線はカウンターです。

北側の窓際にあるものは書架になります。

◎板橋委員

3階部分の吹き抜けがありますが、その北・南にある8つのマークは椅子ですか。

◎柴崎館長

椅子と長机になります。小さい四角は全て椅子になります。

◎板橋委員

この図面上から計算していくと150席までならないかもしれないですね。200席以上には見えませんでしたので。

◎早川委員長

はい、ありがとうございます。前回の検討委員会でも座席数は非常に重要であるという意見が出ておりますので、今後計画を進める上で反映するようにお願いします。私はこの面積からすれば300席の確保は可能であると考えます。プロが設計するわけですから、そのぐらいのことはやっていたらいいかと。前回お話ししましたように2度とつくれる施設ではありませんので、この面積で300席を確保できない設計であればプロとは呼

べないと思います。1日3千人が集う施設です。今板橋委員からご指摘がありました座席数については非常に重要なご意見だと申し上げたいと思います。このようなことからトイレや他の部屋の位置は重要になります。

◎長沼委員

女子トイレの個室の数はいくつぐらいになりますか。

◎柴崎館長

まだ詳細な数は決めておりませんが、委員の皆様から必要な数についてご意見があれば反映させていきたいと思っています。

◎早川委員長

トイレは非常に重要ですが、児童コーナーは家族の利用が多くなるだろうと思います。このようなことを考慮すると、2階フロアは女子トイレ重視でも構わないのではないのでしょうか。男子トイレと比べるとどうしても女子トイレの方が場所を取りますので、そのところは配慮があってもいいのではないかと考えますが、長沼委員のご質問はそういうことも含めたものということによろしいのでしょうか。

◎長沼委員

そのとおりです。お子さん連れの方が連れて行きますと、時間もかかるかと思っています。

◎柴崎館長

ありがとうございます。確かにそのとおりでございますので、女子トイレを重視した形で考えてまいりたいと思いますが、図書館を利用している方の様子を見ていますと、最近はお父さんがたがお子さんを連れてくるケースもかなり見受けられるようになってきております。男子トイレの中にもオムツ交換台を設置するようなことも考えていきたいと思っています。

◎車塚室長

先ほどの女子トイレの個数ですが、4ブース検討しているところです。

◎下澤委員

先ほどからお話が出ている水回りの位置で、確か前回の検討委員会でフロアの奥に決まっているので、児童コーナーの奥にならざるを得ないと伺ったかと思っています。今日であればまだトイレの位置を流動的に動かせるということですが、児童コーナーが奥にあるというのはどうなのかなと思います。小さい子ども達をフロアの奥に連れて行

くというのはどうなのでしょう。他の図書館ではどうなっていますか。

◎早川委員長

では私の方からよろしいでしょうか。私のいた南相馬市立中央図書館では、子ども図書館が通路を挟んで大きく一つの図書館となっています。メインのトイレの他に子どものコーナーだけに子ども用のトイレがございます。それは、もちろん大人も使えますし、広くスペースを取ってあり、子どもが座れるよう便座の配慮がしてあり、鏡を斜めにし、手洗い台も低くしてあります。大人用のメインのトイレは入口近くにあります。作り手からすると水回りが2ヶ所になり大変になるのですが、今の段階であれば妥協は禁物ですので、いろいろなご意見を頂ければと思います。

◎下澤委員

入口から入って皆さんが新聞を静かに読んでいる中を、奥のスペースに子ども達を連れて通らなければならないというのはどうなのかなと思います。

◎早川委員長

事務局に確認ですが、児童コーナーは2階の右手側への配置と解釈してよろしいのでしょうか。

◎柴崎館長

はい、そうです。前回大まかなゾーニングを説明させていただきましたが、入口入ってすぐのところが情報交流コーナーということでカフェを設置するなど交流活動ができるようなスペースになります。それから中央部は、入口入ってすぐ右あたりが雑誌・新聞を読むようなスペース、その奥が子どものゾーンというように説明させていただきました。2階フロアはにぎやかなフロアということで新聞や雑誌を静かな雰囲気を読むというイメージではなく、ざわざわした感じでも構わないと私達は思っておりましたので、奥の方にお子さん方を連れて、そこで自由にのびのびとした雰囲気で図書館を楽しんでもらえればと考えております。

◎早川委員長

はい、ありがとうございます。

◎岡本アドバイザー

場所に関してはどちらかと言うと絶対的な結論はなくて、決め事レベルの問題かと思えます。出入り口に近い場合想定されるリスクとしては、どうしても親御さんがずっとお子さんのことを見ているわけにはいかないので連れ去りのリスクが多少なりとも出て

きます。特に場所が場所ですので、連れ去りとまでいかずとも小さなお子さんですと一人で外に出てしまったりすることが想定されます。駅前で多少交通量が多くなりますので、その点で事故等への配慮が必要になってくると思われまます。そういう意味でこの奥まった所ですと、奥まっているという懸念も確かにあるのですが、一方で他の利用者や図書館スタッフの目が比較的届きやすいというところがあります。ですからある種すぐに使える利便性を重視するのか、お子さんの安全を重視するのかということにかかってくるかと思ひます。

また今柴崎館長から説明がありましたように出入口付近にカフェ的なコーナーを設置することを考えた場合、比較的にぎやかでざわつきのある環境の部分とお子さんがのびのびと過ごせる部分と切り分けを図った方が良いかなと思ひます。

そういう意味でもう一点あります。近年、幼稚園設置でかなり問題になっていますが、同様に公共図書館でも問題になっているのが、シニアの方のお子さん方の声に対する慣用性が低くなっていることです。なるべくこの2つの世代は切り分けを図っておいた方が良いかと思ひます。そういう意味で新聞コーナーを主に利用されるのが比較的シニアの方が多くなりますので、雑誌・新聞コーナーは比較的手近に利用できる入口付近に設置し、複合的な要因も含めて、子ども用のスペースは奥まった所の方が良いのかなと私自身は思ひます。

◎早川委員長

はい、ありがとうございます。

◎三塚委員

そういう意味から言えば、安全性を考えれば、大人のトイレは多目的室周辺に、子ども用のトイレは児童コーナー付近のままの方が良いような気がします。あとカウンターについてですが、レファレンス用のカウンターは考えているのでしょうか。計画には書いてあるようですが、貸し出しカウンターとレファレンスカウンターを別にして設置してもらいたいと思ひますがどうでしょうか。

◎柴崎館長

2階のカウンターは総合的なカウンターをイメージしておりまして、貸し出しや案内を考えております。レファレンスカウンターは3階に設置したいと考えております。場所は3階の学習室の脇にカウンターがありますが、そこはレファレンス中心のカウンターというイメージでおります。

◎早川委員長

はい、ありがとうございます。それではトイレについてご意見が出ましたので、図面に示されましたとおりか、大人用トイレは多目的室周辺に移動し子ども用トイレは児童コーナーに残すという案の2通りですが、他にありますでしょうか。板橋委員からトイレは他にもあるのでその点も考慮した上で決める必要があるだろうという意見も含めてお諮りしたいと思います。

トイレの場所が決まりますとCGや模型をつくるということも反映しやすくなると思います。

それでは成人男女用のトイレを入口近くの多目的室の近辺がよろしいと思う方、挙手をお願いします。4名ですね。

この図面のままの方が妥当だという方、挙手をお願いします。2名ですね。

挙手されない方はまだ判断が難しいということによろしいでしょうか。

◎福間委員

駅に直結しているということですがイメージしにくいところがあります。駅に直結している他の図書館の例としてどのようなものがあるのか、また前回の検討委員会で駐車場の話をしましたが、その後私自身メディアテークを見てきました。他の方にもお話を伺いましたが、私が委員になったときには新図書館設置は利便性と効率でこの場所ありきになったということで、駅前設置することによって全ての年齢層が利用しやすいというわけではないと思います。私が伺った中では郊外型の方が来やすいという方が多かったのですが、図書館をこの場所を選定したという部分をもう一度伺うのと同時に、他の図書館ではどういう利用者が多いのかという点をお聞きしたいと思います。

◎早川委員長

1点目の図書館をこの場所にしたという理由と、2点目としまして駅に直結している他の図書館ではどのような状況になっているのかということについて説明をお願いします。

◎車塚室長

市街地再開発事業について基本的な事項だと思います。なぜ駅前なのかということですが、震災前から駅前についてどのような施設をつくるのかという検討がされておりました。平成21年7月になりますが、名取市中心市街地活性化基本計画を策定する上で、今の増田地区の中心市街地をどのようにするかという議論がされております。その中で街中の人口流出という課題がありましたので、まず街中に人を集めるというものが一つありました。それから商店街の活性化といったものもありました。それから公民館施設がかなり老朽化している状況、増田地区には公園が少ないことから公民館の跡地利用に

については防災広場的な公園に整備するといった話がございました。その中に複合施設ということで、また事業手法については再開発事業を使って整備するということが中心市街地活性化基本計画がまとまりました。また、平成23年には名取市の第5次長期総合計画が策定されました。その中で、図書館の今後のあり方というのでも検討されておりました、いわゆる複合施設として名取駅前にその施設をつくるということで、まず人を集める・集客、それから公共施設なり利便性施設というものは集約という方向に向かっております。最近、施設をつくられ方としましてはそれぞれ点在してそこで皆さんがご利用されるような考え方ではなくて、利便性の良い所にその施設を集約して使用していただきたい、という形でいろいろできております。第5次長期総合計画の中に、図書館を中心とした駅前の複合施設を整備するという考えがあり、それに基づいてこのような事業を展開しているわけです。

◎早川委員長

2点目の駅前にある図書館の利用状況について事務局で調査されたことはありますか。

◎柴崎館長

特に調査をしたことはありませんが、私がこれまで視察した中で思い出されるのは東京の青梅市中央図書館はペDESTリアンデッキから直結している図書館でした。この図書館はトイレの位置は出入り口から入ってすぐの場所ではなく、奥まったところにあったと記憶しております。必ず図書館のトイレはペDESTリアンデッキから入って入口すぐの所にトイレをつくらなくてはいけないということはないと私自身は考えております。参考になればと思ってお話させていただきました。

◎早川委員長

駅前の利用状況のことですが、私から知っている範囲でお話させていただきます。駅前に図書館をつくる事例が今ものすごく多くなってきているのが現状としてあります。車塚室長がおっしゃったように、もう一度にぎわいを取り戻したいという自治体の願いが大きいのかなと思います。それで利用状況ですが、駅の乗降客数、年齢層にもよりますが、かなり幅広い年齢層の利用が期待できると思います。私のいた、地理的には名取市よりもずっと不便な人口7万人の南相馬市立中央図書館は、年間入館者数50万人、利用点数60万点という状況です。旧図書館と比べると、子ども達の数、若い年齢層の利用者が増えております。震災後は年齢構成が変わりましたので省略させていただきます。あと駅周辺は古くからの街が構成されておりますので、高齢者の方が自転車、もしくは徒歩でいらっしゃる方の数がとても増えました。駅近辺に立地すると誰でもが図書館の場所が分かるというのが一番良いところになります。もちろん名取市と南相馬市

とでは町の状況の相違はあるかと思いますが、前回は申し上げましたように土・日曜日は3千人の来館が見込める図書館になろうかと考えられます。そのためには赤ちゃんからお年寄りまで、車椅子の方もどこに行っても使える施設にならなければいけないと考えております。

◎岡本アドバイザー

私からいくつかお話してよろしいでしょうか。まず、都会の例ということで恐らく今駅直結で比較的話題性のある図書館は神奈川県川崎市立中原図書館になると思います。昨年オープンし集客に成功しているところです。利用客が約2倍にまで上がっています。これは駅直結だから上がったという部分があるかなと思います。ちなみにここは武蔵小杉という神奈川県内でもかなり主要な駅に直結しています。駅の乗降客数は約11万人になります。来館者数は1日平均約6千人という数字が最初の月に出ています。

名取駅の場合1日の乗降客数が約1万人ということですので、単純な比較はできません。従来、増田地区のこの図書館に駅からの利用者はまず見込めなかったと思うのですが、1万人のうち少なくとも駅東口側に出る方の相当数がその流れで寄るとするのは十分に考えられるのではないかなと思います。

お手洗いの場所ですが、中原図書館のイメージに近いと思います。駅直結型でそのまま図書館に入れるようになっているのですが、この手の図書館ですと若干奥まったところにお手洗いを置くケースが多いと思われまます。すごく考えた理由があるかもしれませんが、安全管理をどのように考えるかという部分があるのではないかなと思います。あるいは私がコンサルとして関わる場合でしたらそこはかなり気にする点ではあります。入って来やすいということは図書館としては良いことなのですが、一方施設全体で考えた場合、例えばお手洗い機能を図書館だけが提供する必要は必ずしもありませんので、1階部分もありますし公民館部分もありますし名取駅そのものにもお手洗いがありますので、そこまで利便性を意識しなくても良いのではないかなという考え方もあるのではないかなと思います。

図書館の場合、一般の方の出入りを原則的に全く拒否はできませんので、どなたでも入って来て下さいというのは良いことなのですが、入って来てすぐの場所にお手洗いという流れになったときに、今どういう方が入ってきたのかということ職員の方が把握しにくく、ということは特にこの町の規模で考えた場合少し課題があるのではないかなという気がします。前の図書館も今の図書館も、比較的どなたが来ても職員の方が把握しやすい関係にありますので、このことは規模が大きくなるとはいえ新図書館でもあまり変わらない構造だと思われまますし、それがこの名取の町の良さだと思われまます。

繰り返し恐縮ですが、すぐ入れる場所ということこそをそこまで意識しなくてもよいのではないかなと思います。あと新図書館は大きくはなりませんけれども、ものすごく大きく

なるわけではありませので、この規模であれば入口から奥のスペースまでさしたる距離ではないと思います。

さらにお手洗いの件で私から考えなくてはいけないリスクではないかと思う点でお伝えしておきたいことがあります。主に今議論になっているのは2階の部分ですけれども、児童用のお手洗いと大人用のお手洗いの場所が離れることが適切かどうかということがあります。日本ではまだ顕在化していませんが、実際に水面下で問題視されているのが公共施設や商業施設での、特に子どもに対する性的嫌がらせがお手洗いでかなり起きていと言われています。事件化することを恐れて警察に被害届を出す親御さんは少ないという問題があるのですが、お手洗いで変な人に声をかけられたというケースは実際に水面下で相当数あります。この場合問題になるのが、児童用お手洗いと大人用お手洗いと分かれているため、お子さんに対して「お父さんお母さんお手洗い行ってくるから、自分一人で行ってきなさい」と離れてしまうケースで、お父さんお母さんは入口付近のお手洗いへ行く、お子さんはお子さんで図書館の中で比較的安全性が高いと思われる場所にいるので親御さんが何となく安心してしまいます。特にお母さんであれば結構このような問題は認識されていますので、普通お子さんをそのまま一人にはしないのですが、父親はこのような問題意識が薄いので子どもに一人で行かせて性的被害に遭うというケースが少なからずあります。そういう意味ではなるべく近くにしておいた方が安全安心な部分はあるかなと思います。もちろん逆の考え方としては、児童用お手洗いのそばに不審な大人が近づきやすくなるということもあるので、考え出すと五十歩百歩ですけれど。

あとは運用の問題ですね。名取の町の規模を考えたときに、比較的仙台とは違って顔の見える関係にあるとか、スタッフの方の数が近隣の図書館に比べて多いので、この現状のスタッフ体制を最低限維持あるいはより増強していくことで図書館内に目を行き届かせることができるかどうかで変わってくるかと思います。どちらの考えを取るにしても、水面下ではかなり増えていると言われている児童・生徒に対する性的被害という問題をかかり意識した方が良いかとは思っています。

◎早川委員長

はい、ありがとうございます。今岡本さんからアドバイスを頂きましたが、事務局としても結構考えてこの位置にしたという経緯もあります。他に意見ありますでしょうか。

◎車塚室長

確認をさせてください。トイレが入口の近くということですが、多目的室の位置に変えトイレの部分に多目的室を設置するということでしょうか。それとも多目的室の前に設置するということでしょうか。

◎三塚委員

多目的室の位置をトイレに変えることも良いのではないかとということです。水回りを西側にすることができるのか、設計に関し私たちは素人ですので先に伺っていた方がよいのかと思いお話ししました。岡本さんがおっしゃったように、名取市の規模で言えば、カフェがあってカウンターがあって事務室の前を通過して児童用カウンターの前を通過してトイレに行くということが安全性を確保しやすいという一面があるのであれば、図面のとおり東側の設置ということも良いのではないかと思います。どちらの場所が良いかももう一度考えます。

◎長沼委員

私が思っていたのは、児童用のトイレと小さいお子さんのトイレを別に設置するのも考えていました。そうすると小さいお子さんを連れて行くことを想定すれば今の位置にも必要だと思いますし、一般の方お一人だけでお見えになった方にとっては別のトイレがあってもいいのかなと考えました。私が想定していたのは、大人用のトイレが追加できるのであれば出入り口にあってもいいのかなと思いました。名取駅の2階のトイレは改札を抜けてからのものですので、駅を利用される方にとっては利用できますが、普通の方は利用できない位置にありますので、1階はそうではないですけれども。こういったことを考えますと、駅とつながっているのであれば図書館の出入り口にあってもいいのかなと思います。

◎板橋委員

名取駅のトイレは西側1階にも東側1階にもあります。また本来ここで議論するものではないかと思いますが、4階の公民館のトイレの場所のことも含め、違う階でもトイレはトイレで同じ場所にまとめた方が良いのだと思います。トイレの場所について、私は図書館利用者ではない一般の人のトイレの利用まで考えず、図面のままでも良いのではないかと思います。

◎早川委員長

それでは、トイレについて事務局としても運営面を含め図面上の位置が妥当であろうという意見もありましたし、1階にもあることから、図面通りの位置でよろしいでしょうか。

(委員一同了承)

この場所で決定ということによりよろしくお願いいたします。

では、次に階段・吹き抜けについて検討したいと思います。先ほど天間副委員長からご意見がありましたように、立体的に見ないと素人には難しい、特に吹き抜けは慣れていないとイメージするのがなかなか難しいと思います。

◎志賀委員

どこまでが吹き抜けの部分でしょうか。

◎柴崎館長

図書館の部分である 2・3 階部分のみの吹き抜けです。

◎志賀委員

階段も 2・3 階部分だけでしょうか。

◎柴崎館長

中央にある階段は、図書館内の 2・3 階だけの階段になります。

◎早川委員長

こちらのところが決定すれば、ゾーニングがもう少し分かりやすく模型や CG の提示していただけるということになると思いますが、他にご意見はないでしょうか。

◎天間副委員長

上の階と下の階がつながっていて私は良いものだと思って見ましたが、皆さんはどうでしょうか。真ん中に設置されていて 2 階と 3 階を行き来しやすいように思えます。

◎板橋委員

2 階と 3 階の図書館内の連絡階段であれば良いのではないのでしょうか。

◎三塚委員

この階段を尚絅学院大学の図書館にある 2 階から入って 1 階に下りる階段のように、木でつくるというのはどうでしょうか。提案です。

◎天間副委員長

とても素敵だと思います。

◎早川委員長

階段の位置ですが、決して広くはない図書館の中の一等地の場所なのに階段がある理由は何なのか。2フロアですので、2階にいれば3階に行きたくなり、3階に行くと2階に行きたくなるようなつくりは必要だと思います。吹き抜けもそのへんに配慮しているのかなと思うのですが、この重要な位置に階段を配置したというところが非常にもったいないかと思います。私であれば、新聞コーナーの横のところに配置を考えます。要するに中央スペースの使い方を邪魔しないところへの階段の配置の方が妥当ではないのかなと思います。7千㎡ある図書館であれば話は別ですけども3千㎡そこそこしかないところで中央部分が階段として制約されるのはもったいないという感想を持ちました。サイドに配置した方が良くと思います。中央部分に階段を持ってきたのも分からなくはない点もあるのですが、スペースを有効に使う視点で階段が設置されている図書館が多いものですから。

◎柴崎館長

確かに中央に階段があることで、書架が非常に配置しにくいという問題を私たちは感じておりましたので、これから設計の方に出入り口の右側に階段を移すことが可能かどうかを再度確認したいと思います。

◎早川委員長

そうですね。これは非常に重要な部分ですので確認していただくようお願いします。

◎板橋委員

階段の場所が移るのであれば、閲覧室等にできればよろしいのではないのでしょうか。図書館内の2階と3階をつなぐエレベーターもあるようですし、階段を設置しないという考えもあるのではないのでしょうか。

◎早川委員長

他の図書館でなぜこの場所に階段を設置してしまったのか、というようなケースを見てきた経験があります。確かに中央に階段があることで上の階と下の階を行き来しやすいという良い点もありますが、総合的に考えますとサイドに寄せて中央部分を有効に使うことができ自由度が広がりより良い図書館ができるのではないかと思います。2階に児童コーナーがあつて3階は一般用のコーナーになっていますので、お子さんを連れて上や下に行ったり、バラバラに行ったりするように様々なことが考えられますので階段はサイド側ばかりでなく、児童コーナーの近くに設置するというのもおかしくはないと思います。

◎岡本アドバイザー

設計の方を困らせるかと思うのですが、避難誘導のことを考えますとやはりあった方が良くと思います。非常階段がありますけれど、非常階段を使つての避難誘導というのはなかなか考えにくいところがあるかなと思ひまして、通常の階段一本のみになるというのは避けた方が良くと思います。いわゆる建物の二方向避難の確保の原則からしますと、中央階段を外してもその原則は守られますが、屋外階段というのは本当に非常時にしか使わないというふうに思つた方が良く考えます。そういう意味では、出入口付近にある左側の階段と中央階段の設置は良くと思いますが、中央階段についてスペースを取り過ぎているのではないかと思います。たぶん螺旋階段にしたらもっと小さくなるはずだと思います。螺旋階段であれば、先ほどのご要望のありました木でつくるといふのは現実味があるかと思ひます。階段部分は鉄でつくり、その周囲を木の柱で覆うような形ですね。これは結構よくあるデザインかと思ひます。これであれば特に現図書館が持っている雰囲気を持て維持できるのではないかと思います。さらに設計の方にがんばつていただくとすると、螺旋階段を円形の書架が取り囲んでいるような形になっていると収蔵量が増えると考えます。先日それに近い例を見てなかなか良かったなあと思ひますが、普通本棚が丸みを帯びているといふのは図書館にとって極めて使いづらいのですが、そこで見たケースですといふゆる新着の図書だけをそこに置いてあり、そのスペースがちょっとしたショールームといふかショーケースっぽくなつていました。このような使い方は有りだと感じました。通常は図面のような本棚の方が絶対に使いやすいですが、名取の場合は、螺旋にして周囲に本棚を上手く置き、展示か何かをある程度置けるようにするよな形で階段の面積を少し小さくして、先ほど早川委員長がおっしゃられたようにどちらか脇に寄せるよなやり方が諸々の課題を一番解決できる案ではないかと思ひます。あとは螺旋といふものが建築設計や構造計算上許容できるのか、ここところは建築の方の専門的なご判断になろうかと思ひますが、このような方向性で進めてみるのも有りではないかなと思ひます。

◎早川委員長

はい、ありがとうございます。階段については構造の問題もありますし、避難についても厳しくなつてきていますのでご意見を頂戴したものを事務局でまとめるということでもよろしいでしょうか。螺旋階段のところには本棚を配置するのは非常に素敵です。ただ、岡本さんがおっしゃたよなつくる側の技術やセンスは求められますので。とにかくセンスの悪いものだけは絶対に止めていただきたいと思ひます。この図面を最初見たとき全然わくわくしませんでした。いかにも死角ができるのを嫌つて単純にスクエアに描かれていますけれども、全くわくわくしないですよ。やはり期待していただくためには

せっかく階段を付けるのであれば螺旋にして壁にアールを取って綺麗に本棚を付けるとか、今の段階では平面図ですのでそこまではなかなか読み取りづらいのですが、そういうことも含めてぜひ次回は設計者も同席していただけないものでしょうか。これほど皆さんが一生懸命になって考えているところを直にこの場に来て聴いて頂くというのは設計者にとってプラスになるはずなのですが、南相馬ではそうやってかなり激しいやり取りをして出来上がっておりますので、事務局の方でも建築の専門家を同席させた上での議論の方がより得るものがあるのかなというように考えます。委員の皆さんもいかがでしょうか。

◎車塚室長

再開発事業につきましては全体設計をある設計会社が携わっており、今は基本設計の段階で実施設計はこれからになります。また、図書館の内装関係については今後正式に契約を締結していくという流れになってくると思います。設計者の出席の要請は今回しておりますが、この検討委員会において委員の皆さんから設計者の意見を求める声があることを伝えまして、次回は設計者も参加できるように調整したいと思っていますのでよろしくをお願いします。

◎早川委員長

建築基準法や建物の問題について話をお聞かせいただくことになるかと思っておりますのでよろしくをお願いします。

その他、この前お話したところも踏まえまして何かありませんか。無ければ一つ私からよろしいでしょうか。

カウンターが3ヶ所になっていきますけれども、利用者と職員の動線をきちんと見て再考して方が良いのではないのでしょうか。名取市の職員体制は非常に良いとはいえ、常に開館している時間に3人の職員を配置するというのはしんどいのではないのかなと。最近オープンしたばかりの他の図書館で児童デスクがあるのですが常にそこには人がいないんですよ。例えですけれども、2階のフロアでコントロールデスクの位置によっては子どもと大人の両方を見れるデスク配置も可能だと思います。もちろん図書館の方でサービスにより力を入れたいので小さな独立したものを設置する、ということであればそれはそれで良いと思いますが、相当の人が入ってくる所ですので、子ども専用のデスクがあるというのは非常に素晴らしいことですが、なるべく利用しやすい形を保った上でデスクの配置を掘り下げて検討された方がよろしいのかなと思います。

では、今日いただいたご意見が反映されて次回の検討委員会で模型やCGを示されることが非常に楽しみであります。他にご意見ありますか。

それではいろいろご意見をいただきましたので、次回は反映した形で開催されるとい

いなと思いますが、経験上模型の制作はかなり時間がかかりますので、立体的に見えるCGがあるといいなと思います。今日の意見が反映されれば相当変わってくるかと思います。ぜひよろしくをお願いします。

◎志賀委員

今回はその模型やCGを見ながら議論をするということは必要だと思います。できればこのような図面は拡大して貼ってお話ができればもっと皆さんのイメージが共有できるのではないかと思いますので、そういう工夫をしていただければと思います。

◎早川委員長

はい、では委員の皆様から施設のゾーニングについてはこれでよろしいでしょうか。

(2) その他

◎早川委員長

次に(2)その他について何かございましたらお願いします。無ければ事務局からありますか。

◎事務局

今日、全ての委員さんではないのですが、印鑑をお持ち頂きたいとお願いしておりましたので、閉会后こちらからお声掛けをいたします。

◎早川委員長

それでは以上で議事を終わらせていただきます。様々なご意見をいただきましてありがとうございました。

◎事務局

早川委員長さん、ありがとうございました。それでは閉会になりますので、閉会のご挨拶を天間副委員長さんをお願いいたします。

5 閉 会

◎天間副委員長

熱心な議論、大変ご苦勞様でした。NHKの朝7時30分からでしたが図書館についての内容の番組を結構放送されておりまして、私が気付いただけで11月4日7時30分、

12月16日7時30分ごろから、盛んに放送されておりました図書館の年間の利用人数が3億人、企業にとっては隠れた成長分野なのだそうですね。というようなことで私からしましてテレビを観る度に本当にわくわくするような状況であります。今後につきましても活発な意見を交換しまして、より良いものができればいいなと思っております。今日は大変ご苦労様でした。

◎事務局

ありがとうございました。それでは今日の委員会の一切を終了します。お疲れ様でした。